誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

全国学力・学習状況調査					
A・B層の割合					
年度	国語	数学			
令和8年度の目標	都の値と±0%	都の値と±0%			
令和7年度の結果	61.5%	51.3%			
令和6年度の結果	56.2%	46.6%			
令和5年度の結果	25.2%	34.8%			

令和6年度江戸川区学力調査結果					
A・B層の割合					
学年	国語	数学	英語		
第2学年	53.8%	50.1%	55.7%		
第1学年	38.9%	42.1%	45.3%		

ともに、生きる。	目標達成に向けた取組			
I PINE	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立	
学校全体の取組	・基礎基本の確実な定着を目指した、「ねらい」の明確な授業 ・全教員の授業公開 ・学習指導案の検討 ・外部研修会への参加 ・積極的なICT活用、体験的、問題解決的な授業を通して納得感の ある授業改善 ・チャイム始業の励行	・放課後学習教室の全学年拡充とその活用 ・漢字、計算、スペリングコンテストの開催 ・家庭学習ノートの取り組み (1日1ページ以上の家庭自主学習) ・よむYomuワークシートの活用	・ミライシードの活用 ・Teamsでの学習情報発信 ・家庭学習ノートの取り組み (1日1ページ以上の家庭自主学習)	
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・発問の工夫と話し合い活動の活性化 ・数学と英語における少人数授業(授業時の授業者の机間指導等) ・エンカレッジルームでの授業を通して、特別な事由によって教室を利用できない生徒の学習機会の確保	・放課後学習教室のクラス編成 ・個人端末等を活用した視覚的教材の活用 ・ドリルパークを活用し、個別最適な問題を配信	・ミライシードの活用 ・L-gateの活用 ・家庭学習教材の提示 (1日1ページ以上の家庭自主学習)	
成果指標	・全国学力学習状況調査 各教科における「先生の話し方がわかりやすく、説明、質問、意味がよくわかる」 肯定的な回答 85%以上	・全国学力学習状況調査 「学習した内容について分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」 肯定的な回答80%以上	・全国学力学習状況調査 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」 肯定的な回答 80%以上	